

平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

プログラム名	社会人キャリアアップ教育プログラム		
事業名	地域の異業種交流団体との連携による起業家養成		
法人名	学校法人有坂中央学園		
学校名	中央情報経理専門学校		
代表者	理事長 中島利郎	担当者 連絡先	武藤俊史 TEL:027-256-7000

1. 事業の概要

本事業では、事業創造を目指す中高年の方々を対象に、経験・能力の棚卸し、ビジネスプランの作成を通して、起業家に必要な着想力・計画力・実行力を養成する120時間の起業家養成講座を実施した。

地域の異業種交流団体との連携により、経営者に接することで起業家マインドを学び、ベンチャー企業を通じて仕組みを見抜き、計画を立てて行動する実行能力を養成した。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

- (1). 本事業は計画どおり、120時間の起業家養成講座を実施できた。
- (2). 受講者アンケートによると、受講生全員が今回実施した講座内容に満足している。
- (3). 今回の講座では、フィールドワークの時間を多く取ったことと、受講生同士のグループディスカッションが非常に良かったと評価されている。
- (4). 受講者による具体的なビジネスプランの作成がなされ、その成果を実績報告書として冊子にまとめた。

②事業により得られた成果

- (1). 受講生から具体的なビジネスプランの作成がなされ、その成果を実績報告書としてまとめた。
  - (2). 今回のカリキュラムは、異業種交流団体との連携として、起業家塾例会(ベンチャー経営者の講演)へ参加すること、フィールドワークを取り入れること、更にはグループディスカッションを多用したことが特色としてあげられる。グループディスカッションを多用した点については、受講生から高く評価されていた。特に、各人のビジネスプランについてグループディスカッションしたことは、受講生のアンケートを見ると良かったと考えられる。
  - (3). 利用した教材についてみると、考えていたことをカタチにすることができたという評価もいただいており、教材が有効的に活用されたと考えられる。
- 事業活動の成果は、講座に協力頂いた異業種交流団体等に周知した。

### ③今後の活用

本事業の教育対象は、事業創造を目指す中高年の方々である。今回実施した教育プログラムは、教育機関が5ヶ月程であり、さらに夜間を中心として内容であった。社会人向けの教育コースとしてカリキュラムの活用が可能であると考えており、このカリキュラムの活用を検討したい。また、利用した教材は起業を目指す人に取り、考えを整理し、計画を立てるために役立つものであり、起業を目指す人だけでなく、本学の学生に対してキャリア教育の教材としても活用できる。

### ④次年度以降における課題・展開

#### (1)カリキュラム内容

今回のカリキュラムは、受講生から高く評価されていた。グループディスカッションを多用した点は特に高く評価されており、カリキュラム内容に明記して取り入れたいと考えている。

#### (2)講座運営方法など

講座の運営面についてみると、欠席者に対し、資料をきちんと渡すなどフォローをしていたが、受講後のアンケートによると、欠席者に対するフォローをもっと充実させてほしかったという結果も出ていた。この点については、同様の講座を実施する際には、更なる工夫をして受講者に対するフォローが行えるようにしていきたい。

## 3. 事業の実施に関する項目

### ①履修証明書等

今回の事業では、起業家養成講座を実施し、受講生にビジネスプランを作成して頂くことが一番の目的である。実施した起業家養成講座における受講人数や履修証明書等については以下のとおりである。

- 講座の開講期間：平成20年8月20日～平成21年1月23日
- 講座の時間数：120時間
- 講座独自の修了証を発行した人数：18名
- ジョブカードへの対応：

今回の講座は、ジョブカードによる評価が難しい内容(起業家育成)となっており、講座を通してのジョブカードの発行は行わなかった。

### ②カリキュラムの内容

カリキュラムの対象は、事業創造を目指す中高年であった。

事業創造に必要な着想力・計画力・実行力の3つの能力を、次の4つのステップで育成を図る内容としており、理論編(座学)の講義とフィールドワークを交互に取り入れることにより、体系的に学び、かつ実践できるように工夫している。

ステップ1:テーマに基づいた着想ラウンド

ステップ2:フィールドリサーチラウンド

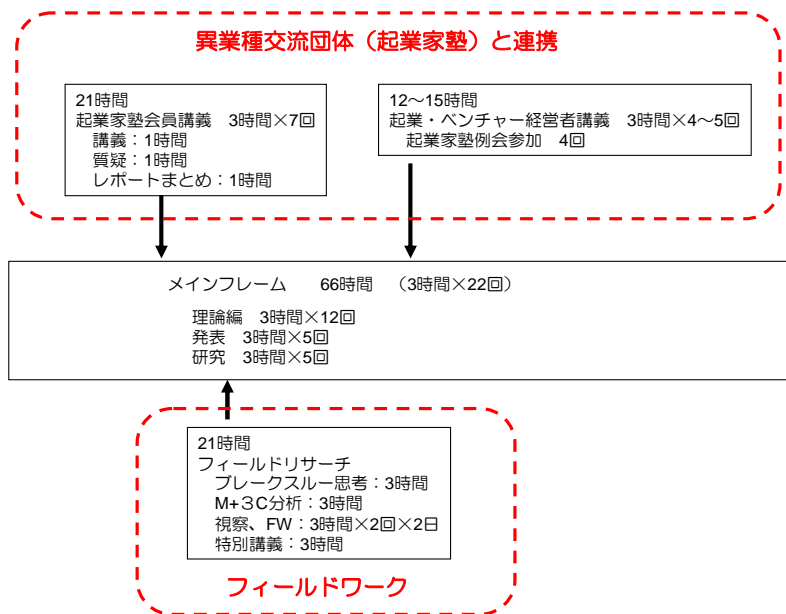
ステップ3:具体的なビジネスモデルの作成ラウンド

ステップ4:実行計画作成ラウンド事業創造に必要な着想力

また、地域の異業種交流団体との連携により、経営者に接することで起業家マインドを学び、ベンチャー企業を通じて仕組みを見抜き、計画を立てて行動する実行能力を養成するため、異業種交流団体の例会へ参加する機会を設けた。

講座の各受講生の業種が異なったこともあり、グループワークやグループディスカッションをカリキュラムの中に取り入れたため、異業種との交流により、新たな視点や考え方をてこにした事業創造を行えるとともに、人的ネットワークを広げることできるようになっていた。

今回実施したカリキュラムのフレーム図を下記に示す。



### ③講座の実施

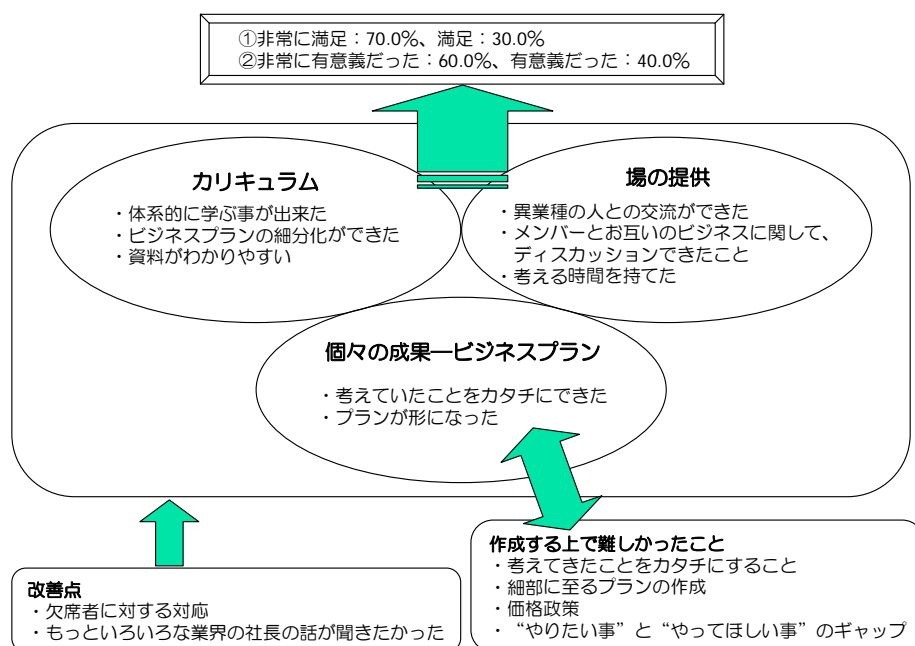
平成20年8月20日より開講し、平成21年1月23日までの期間で、120時間の講座「起業家養成講座」を実施した。

受講者は18名（男性15名、女性3名）であり、年齢は25～64歳と幅広くなっていた。講座の受講にあたっては、「マーケティング」「人的ネットワーク」などを求めている。

受講後のアンケートを見ると、受講生による満足度は、非常に高いものとなっており、この理由は大きく3つに分ける事ができる。1つめは、「体系的に学ぶ事が出来た」や「資料がわかりやすい」といった“カリキュラム”についての評価である。2つめは、“場の提供”である。具体的には、「異業種の人と交流ができた」や「メンバーとお互いのビジネスに関してディスカッションできたこと」、「考える時間を持てた」などの回答があった。3つめは、個々の成果が上げられたと言う点である。具体的には、「考えていた事をカタチにできた」などが回答されている。

ビジネスプランの作成に関しては、「考えてきたことをカタチにすること」や「細部に至るプランの作成」、「価格政策」が難しかったとの回答が寄せられており、ビジネスプランを作成する上での大変な部分が垣間見える。

受講生の今回の起業家養成講座に対する評価を整理した結果を下図に示す。



#### ④支援対象者(受講者)の状況

受講後のアンケートによると、受講生は作成したビジネスプランを「すぐに始めたい」が33.3%と最も多く、次いで「既に始めている」が22.2%となっている。その他、「半年後くらい」が11.1%、「1年後くらい」が11.1%、「2, 3年以内に」が11.1%となっている。

既に始めている受講生の中には、講座で講師を務めてもらった先生に個別に相談を行ったりして事業を進めている方もいる。また、受講生の中から定期的に今回の受講生で会を持ち、交流を続けていきたいとの声も出ており、こういった機会を利用して、フォローアップをしていきたい。